



ファイザー／GCOA(the Global Coalition on Aging)

Vaccines for All: Longevity Unleashed for Everyone **(VALUE)**

公募型助成－日本の成人ワクチン接種率の改善

I. 背景

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、アンメットメディカルニーズのある領域での患者のアウトカムの改善・向上を目的とし、ファイザーの医学的・科学的戦略に一致する、全世界の医療関連団体によるファイザーから独立したプロジェクト（研究、医療の質の向上、教育等）を支援します。

ファイザーによる公募型助成プログラムでは、特定の対象領域等に関する公募要項（RFP）を公開し、審査および承認のスケジュールを設定し、外部審査委員会（ERP）によって最終的な助成の決定がなされます。応募団体におかれては、公募要項に従い、具体的な診療上のギャップ（プラクティス・ギャップ）に取り組むためのプロジェクトを申請するようお願いします。

医療の質を改善するプロジェクトへの助成について、助成金の支援を受ける独立したプロジェクトの計画、実施の責任は、助成金の申請団体（最終的には助成金授与団体）が負うものとします。プロジェクトの立案・実行、または医療の質改善プログラムのモニタリングにファイザーが関与することは一切ありません。

背景（続き）

2019年、ファイザーは革新的な教育および変革戦略を実行するため、Global Coalition on Aging (GCOA)と協力協定を結びました。GCOAはヘルシー・エイジングとアクティブ・エイジングの推進を目指しており、医療従事者が適切な標準治療を実践して患者のアウトカムを改善することを可能とする質の高い教育および変革マネジメントプロジェクトの推進に関し、ファイザーと同じ目標を掲げています。

GCOAのアプローチは次のとおりです。

- 1) 政策立案者、ソートリーダー、医療関係のキーオピニオンリーダーおよび一般市民を教育し、変化を促します。
- 2) 21世紀のヘルシー・エイジングとアクティブ・エイジングに合わせた変革マネジメントについて民間部門を主導するため、グローバル団体および機関、政府と連携します。
- 3) 高齢化する市場機会に合わせ、経済活動戦略と労働人口政策を調整します。
- 4) グローバル、国内およびコミュニティの規模でソートリーダーシップを発揮するためのプラットフォームを構築します。

この独立した取り組みを通じた私たちの目標は次のとおりです。

- a) 特定されたギャップに対処し、ヘルシー・エイジングにつながる日本の成人ワクチン接種率の増加を後押しする学習項目を取り入れます。
- b) 医療従事者が学んだ知識を応用し、それを実践に移すことを可能にする変革戦略を実行します。その結果として、日本の成人ワクチン接種率の増加に伴う患者のヘルスアウトカムの大幅な改善を実現します。
- c) 地域および国の公的政策目標を達成する中心的戦略として、成人ワクチン接種を考慮した日本の公衆衛生および経済政策の変革戦略を実行します。

II. 応募資格

対象国	日本
申請団体要件	<ul style="list-style-type: none"> 日本の施設・団体、またはこれらの団体とのパートナーシップを組める施設・団体のみが、本公募にコンセプト申請（LOI 申請）をすることができます。 助成金は“施設・団体”にのみ入金が可能です。個人や団体性のない診療グループには入金することができません。 施設・団体に該当するのは医師、歯科医師、看護師、コメディカルおよび／または薬剤師が所属する教育機関、医療機関（大規模、小規模とも）、専門職団体、政府系機関、その他医療の改善を事業としている団体です。 助成申請ができる施設・団体の詳細については、以下の資料をご覧ください。 http://www.pfizer.com/files/IGLC_OrganizationEligibility_effJuly2015.pdf 施設内での連携（部門間、専門家間など）や他施設／他団体間の連携を推奨します。なお、プロジェクト内では、共同申請者のすべてが意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。 単位供与を行うプログラムでは、申請団体は当該単位の認定された団体であることとします。

III. 公募詳細

公募開始日	2019年11月18日
公募対象領域	ワクチン
本公募の目的：	<p>日本の65歳以上の高齢者に対するワクチン接種率向上に取り組むプロジェクトの支援を目的としています。ワクチンによる疾病予防は世界的な公衆衛生に寄与するものと認識されており、成人ワクチンは超高齢化社会の時代においてきわめて重要な予防戦略です。成人ワクチンの質改善プロジェクトの実行は、ワクチンで予防可能な標的疾患のうち1種類以上に免疫を保有する65歳以上の高齢者数の明確な増加を実現する系統的かつ継続的な行動となりえます。¹</p> <p>ファイザー及びGCOAは、革新的な医療の質改善戦略、医療サービス提供ツール、行動変化研究、教育・医療情報伝達のためのアプリケーションなどに関するプロジェクトを支援の対象とします。医療現場において、医療の質を改善する方法を精査し評価するこれらのプロジェクトを通じ、ワクチン接</p>

種を受ける日本人成人の数を増加させることを目的とします。必要に応じて、学際的な協力が推奨されますが、すべての共同申請者が意味のある役割を果たすことが必要です。

研究またはシステム変更戦略では、特定の病院／診療所、団体またはコミュニティ内で顕著にみられる成人のワクチン接種に対する障壁をなくすことが重要となります。

既に他施設・他団体で実行されているプロジェクトを参考にして、プロジェクトを提案しても構いません。

プロジェクトの例としては以下のようなものが挙げられます。

- 高齢者に関わる医療従事者（医師、看護師、薬剤師、トレーナー、管理スタッフ、介護者、地域医療従事者など）向けの実務改善戦略
- 革新的な臨床プロセス
- 医師、看護師、薬剤師、トレーナー、管理スタッフ、介護者、地域医療従事者などが所属する、高齢者に関与する医療施設・医療関連団体間における連携の合理化戦略
- 高齢者及び高齢者を扶養する家族へのコミュニケーションおよびコミュニティアウトリーチ戦略
- ワクチンのサプライチェーン／調達またはワクチンの低温保存に関する課題に取り組む実践またはその方法論
- ワクチン接種の増加による臨床的および／または医療経済学的アウトカム測定の改善
- ワクチン使用をトラッキングするための新しいITツールの使用、既存のITツールの修正、互換性の問題に対するソリューション
- 病院／診療所、団体、地域の環境などにおいて、65歳以上の高齢者へのワクチン接種を阻む障害の軽減

知識向上のみにフォーカスしたプロジェクト（抄読会、勉強会、講演会など）は対象外です。プロジェクトには、成果の測定が可能な“行動改善”や“行動変容”を目的とした内容を組み込むこととします。

プロジェクトは、申請団体からの支援が担保されていることが不可欠です。効果的な医療の質改善プログラムを確保するために、スタッフ配置・財務・エビデンスに基づくリソース・ITなどの支援が得られることを、申請団体から承認を受けてください。

プロジェクトはエビデンスに基づくものであり（医療の質改善など）、提案された研究／評価は一般に受け入れられた科学的原則に従うことが期待されます。審査においてはプロジェクトの意図する成果を慎重に検討し、プロジェクトの目標に基き、患者ケアに直接影響を及ぼす見込みが最も高いプロジェクトが優先的に採択されます。

	<p>教育的要素を含むプロジェクトについては、以下の資料から医療従事者向けの学習および行動変化の原則に関する詳細な情報を確認してください。 www.pfizer.com/files/HealthProfessionalsLearningandBehaviorChange_AFewPrinciples.pdf</p> <p>医療現場の仕組み（システム）を変更するプロジェクトは、高く評価されるプロジェクトです。医療従事者および患者に対する教育的取り組みは、本公募への応募において、重要な取り組みの一つではありますが、医療現場の仕組み（システム）を変更することが明確に含まれているプロジェクトが採択において優先されます。</p> <p><u>臨床研究は支援の対象外です。また、医薬品または診断用医薬品の有効性を評価するプロジェクトも対象外となります。</u></p> <p>臨床研究への助成支援は www.Pfizer.com/iir を参照してください。</p>
<p>プロジェクト対象者：</p>	<p>（日本国内でのプロジェクトであることが必須）</p> <p>エイジングと健康の双方に関与する医療従事者。</p> <p>地域中核病院、中小病院、大学病院、大学医療センター、外来診療施設、地域および高齢者施設、その他成人がワクチン接種を受けたりワクチンに関する情報を得たりするコミュニティ（移動診療所、地域薬局、職場など）、地方自治体など。</p>
<p>本公募の背景：</p>	<p>ワクチン、特に小児期の予防接種は 20 世紀の公衆衛生における大きな成功事例の 1 つです。日本は経済大国の 1 つであり、強固な医療制度を有しています。一方で、先進国の中で日本と他の先進国との間にワクチン・ギャップが存在することが指摘されています。²</p> <p>急速な高齢化に伴い、医療制度や経済に新たな圧力が加わるため、成人への予防接種は、特に日本のような超高齢社会にとって、次の大きな公衆衛生の成果となりうるはずですが、日本には推奨ワクチン接種スケジュールがありますが、小児と成人のいずれにおいても、ワクチン接種を推進するプロジェクトを促進しなければなりません。現在、地球上には 50 歳以上の人口が 25 億人おり、日本では 55 歳以上が全人口の 40.39% を占めています³。この劇的な人口統計学的再編成が生じたことにより、高齢者の健康を守り、健康と福利を促進するプロジェクトを求める医療上および経済的ニーズが生み出されており、この中で成人ワクチンは重要な役割を果たすこととなります。公衆衛生の「Best Buy」の中で、成人ワクチンは費用を削減し、健康、自立性、活動性を高水準で維持する上で大きな役割を果たします。</p> <p>日本の成人ワクチン接種率向上の好機を理解する上で、以下に世界的な対策を列挙します。</p> <p>ワクチンは世界中で毎年 600 万人の命を救っています。 米国では、ワクチンで予防可能な疾患により年間平均 3 万人以上が死亡しており、このうち 95% 以上が成人です^{4 5}。</p>

ワクチンは成人に多い他の疾患の予防に役立つことができます。2017年だけで、世界全体で60歳以上の下気道感染による死亡は150万例を超え、損失生存年数としては2300万年に相当します⁶。

高齢者へのワクチン接種はQOLを改善します。ワクチンは人口の高齢化の中で罹病と障害のリスクを低減し、余命を延長させることが可能です。インフルエンザで入院した高齢者の15%が重大な障害を受け、自立性を失います⁷。

ワクチンは継続的な健康とウェルネスに不可欠です。ワクチンの未接種は、複数の疾患に対する脆弱性が高まり、特に年齢に伴いこの傾向が強まります（帯状疱疹、肺炎球菌感染症、インフルエンザなどに対するワクチン）⁸。

ワクチンは他の病気の影響や重症化の軽減に役立ちます。免疫機能が低下している高齢者の場合、ワクチンは合併症の要因から患者を守ることができるため、糖尿病、心疾患などの進行中の病態による合併症はワクチンで予防することができます⁹。

ワクチン接種は個人の利益となるとともに、流行の拡大の防止にも役立ちます。イングランドでは、インフルエンザワクチンは年間180,000～626,000例のインフルエンザ症例を防いでおり、5,678～8,800人の命が救われています¹⁰。

関連するガイドライン等：

- 関連するガイドラインおよび勧告
- WHOは、国家が包括的なワクチン接種プログラムを採用し、設定するに際し、プログラムを作成するための枠組みを提供しています。
http://www.euro.who.int/data/assets/pdf_file/0008/386684/vaccination-report-eng.pdf?ua=1（11ページ）
- [Recommendations to Improve Adult Vaccination Coverage in Latin America（中南米の成人ワクチン接種率を改善するための勧告）](#)
- [WHOはポジションペーパーを発表しています。](#)

<p>現状課題：</p>	<p>日本では、厚生労働省やワクチン関連団体の取り組みを通じて、他の先進国とのワクチン接種のギャップを埋め続けています。しかし、特に成人では、ワクチン接種率向上のため行うべきことは多く残っています。</p>
<p>障壁（ギャップ）：</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一般国民と、高齢者に関わる医療従事者および専門職の間で、成人へのワクチン接種の必要性について周知および認識が不足しています。 • 成人への広範囲なワクチン接種を確保することが、ケアパスや他の体系的な診療業務に含まれていません。 • 年齢を問わないワクチン接種が積極的に推奨されない戦略的な障壁があります。 • 成人ワクチン接種の必要性および重要性が社会的に認識されていません。 • 成人にどのようなワクチンが必要か、またどの年齢でこれらのワクチンが必要かについての考えがまとまっていません。 • 臨床的選択肢を広げるためのワクチンに対する公的な財政援助が十分ではありません。
<p>ギャップを埋めるための現在の取り組み：</p>	<p>世界保健機関「Strengthening Immunization to Achieve the Goals of the Global Vaccine Action Plan」（Global Vaccine Action Planの目標達成に向けた予防接種の強化）（2017） http://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA70/A70_ACONF1-en.pdf?ua=1</p> <p>世界保健機関「Immunization Coverage」（予防接種率）（2018） https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/immunization-coverage</p> <p>世界保健機関「Immunizations, Vaccines and Biologicals」（予防接種、ワクチンおよび生物製剤）（2019） https://www.who.int/immunization/newsroom/news_launch_forum_partners_future_decade_immunization/en/</p> <p>世界保健機関「WHO recommendations for routine immunization - summary tables」（定期予防接種に関するWHO勧告—要約表）（2018） https://www.who.int/immunization/policy/immunization_tables/en/</p> <p>National Conference of State Legislatures（全米州議会議員連盟） 「Immunizations and Policy Overview」（予防接種および政策概要）（2019） http://www.ncsl.org/research/health/immunizations-policy-issues-overview.aspx</p> <p>米国疾病対策センター「Vaccines for Children (VFC) Program」（小児ワクチン（VFC）プログラム） https://www.cdc.gov/features/vfcprogram/</p> <p>NCBI「Human Vaccines and Immunotherapeutics」（ヒト用ワクチンおよび免疫療法剤）（2015） https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4635860/</p>

	<p>Healthy People 「Immunization and Infectious Diseases」 (予防接種と感染症) https://www.healthypeople.gov/2020/topics-objectives/topic/immunization-and-infectious-diseases</p> <p>National Conference of State Legislatures (全米州議会議員連盟) 「Immunizations and Policy Overview」 (予防接種および政策概要) (2019) http://www.ncsl.org/research/health/immunizations-policy-issues-overview.aspx</p> <p>Health and Human Services 「Adult Immunization Plans」 (成人予防接種計画) (2016) https://www.hhs.gov/nvpo/national-adult-immunization-plan/index.html</p> <p>New York State Department of Health (ニューヨーク州保健局) 「New York State Vaccines for Adults Program」 (ニューヨーク州成人ワクチン接種プログラム) https://www.health.ny.gov/prevention/immunization/providers/state_vaccines_for_adults_program.htm</p> <p>世界保健機関 「European Immunization Week」 (欧州予防接種週間) (2019) www.euro.who.int/en/media-centre/events/events/2019/04/european-immunization-week-2019/background</p> <p>https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(04)16715-9/fulltext#%20</p> <p>https://www.nytimes.com/2019/02/22/world/asia/japan-measles-outbreak.html</p>
<p>本公募の助成額 :</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト 1 件あたりの上限額は 250,000 米ドルとします。 プロジェクト支援のための助成金額は、外部審査委員会によるプロジェクト案の評価および関連費用によって変わり、その金額は承認通知に明記されます。
<p>締切日等、スケジュール :</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公募開始日 : 2019 年 11 月 18 日 コンセプト (LOI) 申請提出締切日 : 2020 年 1 月 31 日 期限は米国東部時間午前 0 時です (ニューヨーク、GMT -5)。 外部審査委員会によるコンセプト (LOI) 申請審査 : 3 月 1 日または 3 月 8 日の週 コンセプト (LOI) 申請審査結果通知予定日 : 2020 年 3 月 20 日 最終申請締切日 : * 2020 年 5 月 15 日 * 採択されたコンセプト (LOI) 申請のみ、最終申請の提出をお願いしま

	<p>す。 期限は米国東部時間午前0時です（ニューヨーク、GMT -5）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部審査委員会による最終申請の審査：6月22日または6月29日の週 最終申請審査結果通知予定：8月 助成金は契約が締結された後に支払われます。 プロジェクト開始予定：2020年8月以降
<p>申請方法：</p>	<ul style="list-style-type: none"> www.cybergrants.com/pfizer/loi にアクセスしてサインインしてください。初めて申請をされる方は「REGISTER NOW」（登録する）をクリックしてください。 Select the following Competitive Grant Program Name の選択では、「2020 Japan VALUE」を選択してください。 提出要件： 申請に必要な情報を申請システムに入力し、Appendix を参照の上、コンセプト（LOI）申請を作成しシステム内にアップロードしてください。 申請システムへの入力は全て英語で入力してください。 システムにアップロードする“コンセプト（LOI）”のみ日本語での応募も可能ですが、審査の過程で英訳する必要がありますので、意図した内容で正確に英訳がなされる保証はありません。 システム上の不具合・エラー等が生じた場合は、ページ下部にある「Technical Questions」（技術的な質問）よりお問い合わせください。 <p>注意事項：申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、審査の対象とならないことをご了承ください。</p>
<p>お問い合わせ：</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本公募に関する質問がある場合は、件名欄に「2020 Japan VALUE」を記載し、以下いずれかにメールでご連絡ください。 <ul style="list-style-type: none"> ファイザー： 神名 明寛 または Angelo Carter (meg.japan@pfizer.com) GCOA： Susan Wile Schwarz (sschwarz@globalcoalitiononaging.com)
<p>審査および承認プロセス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本プログラムの公募では、外部審査委員会（ERP）によって最終的な助成の決定が下されます。 外部審査委員会は、特定の臨床分野における高度な学位と専門知識を有する医学の専門家、または地域・教育グループの特定のニーズや、研究の専門知識・専門職の生涯教育・もしくは医療の質改善の専門家等で構成されます。

申請者への通知法 :

- 申請後の連絡は上記の日付までにメールで行います。
- 審査に必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。

参考文献 :

1. <https://www.hrsa.gov/sites/default/files/quality/toolbox/508pdfs/qualityimprovement.pdf>
2. Saitoh A, Okabe N Vaccine. 2018 Jul 16;36(30):4582-4588. Progress and challenges for the Japanese immunization program: Beyond the "vaccine gap"
3. "Japan." CIA World Factbook (2018). <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ja.html>
4. NCBI "U.S. Physicians' Perspective of Adult Vaccine Delivery" (2015). <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4594851/>
5. CDC, "Vaccination Coverage Among Adults in the United States, National Health Interview Survey, 2016" (2016). <https://www.cdc.gov/vaccines/imz-managers/coverage/adultvaxview/pubs-resources/NHIS-2016.html>
6. "Life-course vaccination can protect adults from infectious disease." STAT (April 16, 2019). <https://www.statnews.com/2019/04/16/life-course-vaccination-protect-adults-infectious-disease/>
7. Healthy Aging: A Complete Guide to Clinical Management. edited by Patrick P. Coll. Springer International Publishing
8. Doherty, T Mark et al. "Vaccination programs for older adults in an era of demographic change." European geriatric medicine vol. 9,3 (2018): 289-300. doi:10.1007/s41999-018-0040-8 <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5972173/#CR22>
9. Doherty, T Mark et al. "Vaccination programs for older adults in an era of demographic change." European geriatric medicine vol. 9,3 (2018): 289-300. doi:10.1007/s41999-018-0040-8 <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5972173/#CR22>
10. "Flu vaccine saves millions in averted lost employment and lost informal care." International Longevity Centre, UK.
<https://ilcuk.org.uk/flu-vaccine-saves-millions-in-averted-lost-employment- and-lost-informal-care/>

IV. 諸条件

本公募要項（RFP）の課題は、特定の条件に準拠していることに留意してください。
諸条件の確認には[ここ](#)をクリックしてください。

Appendix A

コンセプト申請様式

プロジェクトのコンセプト（LOI）はオンライン申請で提出していただきます。コンセプト申請に関して記載する際は、以下の点に注意してください。

プロジェクトの背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。また、この目標が本公募の重点および申請団体の目標とどのように整合するかについても説明してください。 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の全般的な目的を列挙してください。目的には対象集団と、プロジェクトを実施した結果として達成が期待される成果を記載してください。
プロジェクトのニーズ評価	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの対象領域における定量的なベースラインデータの要約、初期測定基準（品質測定指標など）またはプロジェクト開始点（記載した目的の情報となるギャップ分析に関するデータまたは関連する患者レベルのデータを挙げてください）を含めてください。データの収集に用いた情報源および方法を記載します。ギャップの存在を確認するためデータをどのように分析したかを説明して下さい。完全な解析がまだ実施されていない場合は、その情報を入手するための計画の説明を含めてください。本公募には、プロジェクトのニーズに関する国際的な評価が含まれています。趣意書内ではこの情報を繰り返さないでください（必要ならば公募を参照することができます）。適宜、申請する特定のプロジェクトに影響を及ぼす情報のみを含めることとし、このとき地域または日本国内のニーズと諸外国で特定されたニーズとを結びつけます。
プロジェクト対象者	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの主な対象者を記載してください。また、プロジェクトの成果から直接的な利益を得られる人を特定してください。全対象集団のサイズとサンプル集団のサイズを記載してください。
プロジェクトのデザインおよび方法	<ul style="list-style-type: none"> 計画されたプロジェクトと、確立されたニーズに対処する方法を記載してください。 プロジェクトに教育活動が含まれる場合、その活動のトピックと形式（セミナー・ワークショップなど）を簡潔に記載してください。
プロジェクトの画期性	<ul style="list-style-type: none"> 応募プロジェクトの着想がオリジナルであり、他の既存のプロジェクトと重複していないことを保証するためにどのような措置を講じたかを記載してください。 応募プロジェクトが、貴施設または他の施設によって構築された既存の業務、パイロットプロジェクトまたは進行中のプロジェクトに基き、どのように構築されたかを説明してください。

<p>プロジェクトの評価・結果の測定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象グループでのプラクティスギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのかを記載してください。データの収集・分析方法を記載してください。 プロジェクト対象者の観点から、応募プロジェクトにより期待される変革・変容の量を定量化してください。 プロジェクトの成果を広く普及させる方法を記載してください。
<p>予定されるプロジェクトのスケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの開始日・終了日、および全体のスケジュールを記載してください。
<p>その他、プロジェクトに関する追加情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 応募プロジェクトの重要性に関し、ファイザーが認識すべき追加情報がある場合は、ここに要約してください。
<p>申請団体・プロジェクトメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの実行および応募プロジェクトの実行を支援・促進する施設／組織／団体の概要を説明してください。応募プロジェクトにおける各共同申請者の具体的な役割を明確にしてください。共同申請者からのサポートを記載する文書は最終申請の段階でのみ必要であり、コンセプト申請には含めないこととします。
<p>予算の詳細</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンセプト申請の段階で必要な情報は、助成を申請する総額だけです。全体の予算は必要ありません。この金額は必要に応じて最終申請の段階で調整できます。 助成を申請する予算は米ドル（USD）単位で示してください。 予算の見積もり際には、以下の項目に留意してください。 <ul style="list-style-type: none"> 施設の諸経費および間接費（オーバーヘッド）は助成金申請に含めることができます。例として、人件費、給与処理および会計費用、清掃業務、ユーティリティ、財産税、財産および責任保険、建物保守のほか、出版費用、IRB/IEC 審査手数料、ソフトウェアライセンス料、旅費などの追加プロジェクト費用が挙げられます。注意：ファイザーは資本設備に対する資金を提供しません。 これらの費用を含めても、申請金額は公募に定める予算限度を超えることはできません。 なお、ファイザーを通じて付与された助成金は、治療薬（処方薬または非処方薬）の購入には使用できません。 総予算の 28%を上限に諸経費（オーバーヘッド）を計上することができます。

-
- ¹ <https://www.hrsa.gov/sites/default/files/quality/toolbox/508pdfs/qualityimprovement.pdf>
- ² "Japan." CIA World Factbook (2018). <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ja.html>
- ³ "Japan." CIA World Factbook (2018). <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ja.html>
- ⁴ NCBI "U.S. Physicians' Perspective of Adult Vaccine Delivery" (2015). <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4594851/>
- ⁵ CDC, "Vaccination Coverage Among Adults in the United States, National Health Interview Survey, 2016" (2016). <https://www.cdc.gov/vaccines/imz-managers/coverage/adultvaxview/pubs-resources/NHIS-2016.html>
- ⁶ "Life-course vaccination can protect adults from infectious disease." STAT (April 16, 2019). <https://www.statnews.com/2019/04/16/life-course-vaccination-protect-adults-infectious-disease/>
- ⁷ Healthy Aging: A Complete Guide to Clinical Management. edited by Patrick P. Coll. Springer International Publishing
- ⁸ Doherty, T Mark et al. "Vaccination programs for older adults in an era of demographic change." *European geriatric medicine* vol. 9,3 (2018): 289-300. doi:10.1007/s41999-018-0040-8 <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5972173/#CR22>
- ⁹ Doherty, T Mark et al. "Vaccination programs for older adults in an era of demographic change." *European geriatric medicine* vol. 9,3 (2018): 289-300. doi:10.1007/s41999-018-0040-8 <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5972173/#CR22>
- ¹⁰ "Flu vaccine saves millions in averted lost employment and lost informal care." International Longevity Centre, UK. <https://ilcuk.org.uk/flu-vaccine-saves-millions-in-averted-lost-employment-and-lost-informal-care/>